

## 安全データシート

作成 2019年9月12日

改訂 2020年3月17日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: Asialoglycan-Oxazoline
会社名	: 株式会社 伏見製薬所
住所	: 香川県丸亀市港町 307 番地
担当部門	: 港町事業所 糖質バイオ研究部 複合糖質グループ
電話番号	: 087-899-7743
FAX 番号	: 0877-22-6280
メールアドレス	: <a href="mailto:info@fushimi.co.jp">info@fushimi.co.jp</a>
緊急連絡先電話番号	: 03-6361-9121 (工業薬品営業部 東京営業所)
整理番号	: 171814

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)
急性毒性 (経皮)		分類できない
急性毒性 (吸入)		分類できない
皮膚腐食性・刺激性		分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		分類できない
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器 (単回暴露)		分類できない
特定標的臓器 (反復暴露)	分類できない	

環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性 水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性 オゾン層有害性	分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
ラベル要素		
絵表示又はシンボル	: -	
注意喚起語	: -	
危険有害性情報	: -	
注意書き	: -	

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名	: Asialoglycan-Oxazoline
別名	: G2-Oxazoline, Asialo-Oxazoline
化学式	: C <sub>54</sub> H <sub>89</sub> N <sub>3</sub> O <sub>40</sub>
分子量	: 1420.28
CAS No.	: 情報なし
官報公示整理番号 (化審法)	: 該当なし
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	: 情報なし
成分及び含有量	: >95.0 % (HPLC)

### 4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所へ移動し、保温、安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに汚染された衣服や靴などの汚れを落とし、付着部または接触部を石鹸水で洗浄し、多量の水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で15分以上洗い流す。症状が出た場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 口を漱ぎ、大量の水を飲ませて吐かせ、速やかに医師の処置を受ける。
応急処置をする者の保護	: 救助に当たる者は、自己の安全にも注意すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: データなし
火災時の特定危険有害性	: 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特定の消化方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。 消火作業は可能な限り風上から行う。
消化を行う者の保護	: 消火作業を行う際は、適切な空気呼吸器、耐熱性防護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業者は、必ず保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸入を避ける。

漏出した場所の周辺を適切な範囲で隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業の際は漏出場所の風上から行う。

### 環境に対する注意事項

: 水質汚濁防止法の基準に合致した状態で排出する。直接に河川や下水に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材

: 粉塵が立たないように注意して掃き集め、密閉容器に回収する。

付着物、回収物などは、関係法規に従い速やかに処分する。

### 二次災害の防止策

: すべての発火源を速やかに取除く。

漏出物を排水溝等に流出させない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

#### 局所排気装置・全体換気

: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。

#### 安全取扱い注意事項

: 眼、皮膚への接触、吸入を避けること。

取扱いは換気のよい場所で行うこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 接触回避

: 「10. 安全性及び反応性」を参照のこと。

### 保管

#### 技術的対策

: 熱、高温を避けて保管すること。

#### 混触危険物質

: 酸化剤

#### 保管条件

: 容器を密栓して冷凍庫に保管する。

#### 安全な容器包装材料

: 法令の定めるところに従う。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 許容濃度

: 管理濃度（労働安全衛生法）；設定されていない。

日本産業衛生学会（2005年版）；設定されていない。

設備対策	: 作業場の近くに身体洗浄、洗眼、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防塵マスクなどの適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 労働衛生用保護手袋などの保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 保護眼鏡などの保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性保護前掛け、長そでの保護服等を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	: 白色粉末
臭い	: 無臭
pH	: 情報なし
融点/凝固点	: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
火炎燃焼性	: 情報なし
爆発範囲	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
相対密度	: 情報なし
溶解度	: 情報なし
n-オクタノール/水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
粘度	: 情報なし

## 10. 安全性及び反応性

反応性	: 特別な反応性は報告されていない。
化学的安定性	: 適切な条件下においては安定している。
危険有害反応可能性	: 熱分解や燃焼により、炭素、窒素酸化物やその他の有毒ガス、蒸気が発生する恐れがある。
避けるべき条件	: 熱
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし

眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 情報なし
呼吸器または皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

---

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 情報なし
水生環境慢性有害性	: 情報なし
残留性/分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

注意事項	: 適切な保護具を着用する。国内規制に従い、認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
残余廃棄物	: 関連法規、及び地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

国際規則	: 該当なし
国連番号	
品名 (国連輸送名)	
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	
容器等級	
海洋汚染物質	
国内規則	: 該当なし
輸送の特定の安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

化管法	: 該当なし
安衛法	: 該当なし
毒劇法	: 該当なし

---

## 16. その他の情報

### 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。